

◆ 実施期間

令和3年7月5日（月） ～ 令和3年7月26日（月）

◆ 意見提出件数

2件

※いただいたご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきます。

	意見要旨	回 答
1	<p>3 産業の振興について</p> <p>詫間町は第一次産業従事者が昭和35年が52.7%だったが、平成27年は5.2%にまで激減しており令和3年は5%を切っていると思われる。</p> <p>畑は耕作放棄地が延々と広がっている。詫間町は畑の形はどこもいびつで、三野平野や三豊平野のように四角い畑を探すのは難しく、狭い。</p> <p>農地が大切なのはわかるが、農業振興地域が広く存在する土地は、利用することに大きな制約がある。せめて詫間仁尾地区は特区制度を利用するとか有意義に土地利用できないものか。</p> <p>高松や四国3県からは、仁尾から詫間にかけての風光明媚な景色を求めて土日祭日には車好きの人、バイク好きがたくさん走っている。主要道路沿いの景色を荒れ果てた畑ではなく、魅力ある景色になればと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、観光をはじめとする産業振興のうえで土地利用の検討は重要であると考えています。</p> <p>本計画は、県の方針に基づき過疎地域の持続的発展のための基本的な事項を定めるものです。</p> <p>個別の土地利用の方針や農地の取扱いについては、上位法や市の関連計画に沿って効果的な土地利用を検討します。</p>
2	<p>18ページ 27行目追加挿入</p> <p>財田地区に拠点を置くMA i Z Mとも連携しながら、モデル地区を選定して、地域実態に即した農業を推進する。</p> <p>（理由）中山間地区のスマート農業（例えば、パイプ配管敷設後の入水管理、ドローンによる農薬散布、ロボットによる鳥獣害対策など）を推進する必要があり、支援モデル地区として指定する。</p> <p>19ページ 31行目追加挿入</p> <p>また、財田地区の道の駅「たからだの里さいた」には、国道32号線猪鼻トンネルの開通もあり従来に増して、多くの人を訪れている。</p> <p>道の駅「たからだの里さいた」の整備（農業）とともに、「戸川ダム、物産館、温泉施設たまきの湯、鮎返りの滝、大久保湛之丞パーク」付近一帯を観光地として選定し、環境観光整備事業として推進する。</p> <p>（理由）農業・商業・観光と一体的な整備事業を図ることにより、効率的かつ効果的な期待ができる。</p> <p>32ページ 31行目追加</p> <p>また、財田地区は民間病院・医院もなく、住民の安心安全を図るため、唯一の公的機関である財田診療所に、夜間診療体制を確保する。</p> <p>（理由）永康病院（市立病院）の建て替え、医療機関の地域的連携、医者の確保策を目標としているのみで、財田地区の医療体制に対しての対応策の付言がない。</p>	<p>スマート農業については、現在農政部局にて、農業のどのような分野でスマート化を特に推進していくかを検討しています。</p> <p>今後、具体的な方針が定まった後に、モデル地区の選定も含め、施策に反映させていただきます。</p> <p>ご指摘いただいた内容を参考に、計画20ページ25行目に、財田地区における観光業の記述を追加します。</p> <p>財田診療所における夜間診療体制の確保のためには、医師の確保が不可欠です。</p> <p>医師不足に陥っている現在、まず第一に十分な医師の確保に取り組み、夜間診療体制については、医師の確保が実現した後の検討課題とさせていただきます。</p>